

# 2019年3月期 第2四半期 決算説明会

## 日本通運株式会社

I. 経営状況		IV. 2019年3月期の業績予想	
A. 2019年3月期 第2四半期決算の概要	P. 1	A. 連結業績予想（修正後）	P. 13
B. 直近5年間の売上高、営業利益の推移	P. 2	B. セグメント別状況（修正後）	P. 14 -
C. 直近5年間の経常利益と親会社株主に帰属する四半期純利益の推移	P. 3	C. 外部要因およびその他変動要素の前提（予想）	P. 17 -
D. 財政状態	P. 4	D. 変動要素を考慮した売上高・営業利益増減内訳（予想）	P. 20
E. キャッシュ・フローの状況	P. 4	E. 2019年3月期予想数値の考え方	P. 21
II. 外部環境の変化およびその他の変動要素		V. 経営計画の進捗状況	
A. 増減要素	P. 5 -	A. 日通グループ経営計画2018 -新・世界日通。-	P. 22
B. 変動要素を考慮した売上高・営業利益増減内訳	P. 8	B. 重点戦略の進捗状況	P. 23
III. 2019年3月期 第2四半期業績分析			
A. セグメント別状況	P. 9 -		

2018年10月31日

# I. 経営状況

## A. 2019年3月期 第2四半期決算の概要

### 1) 概要（連結）

（単位：億円、％）

	2019/3期 2 Q累計実績 ①	2018/3期 2 Q累計実績 ②	増減額 (前年比) ③=①-②	増減率 (前年比) ④=③÷② x 100	2 Q累計予想 (4月27日発表) ⑤	差額 ⑥=①-⑤	達成率 ⑦=①÷⑤ x 100
売上高	10,403	9,561	842	8.8	10,100	303	103.0
営業利益	340	322	17	5.6	330	10	103.1
経常利益	377	344	33	9.6	350	27	108.0
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	234	215	18	8.7	220	14	106.6

（億円未満切捨て）

### 2) 連結経営指標（ ）は前年同期実績

売上高営業利益率 3.3％（3.4％）

売上高経常利益率 3.6％（3.6％）

### 【ご参考】（ ）は前年度実績

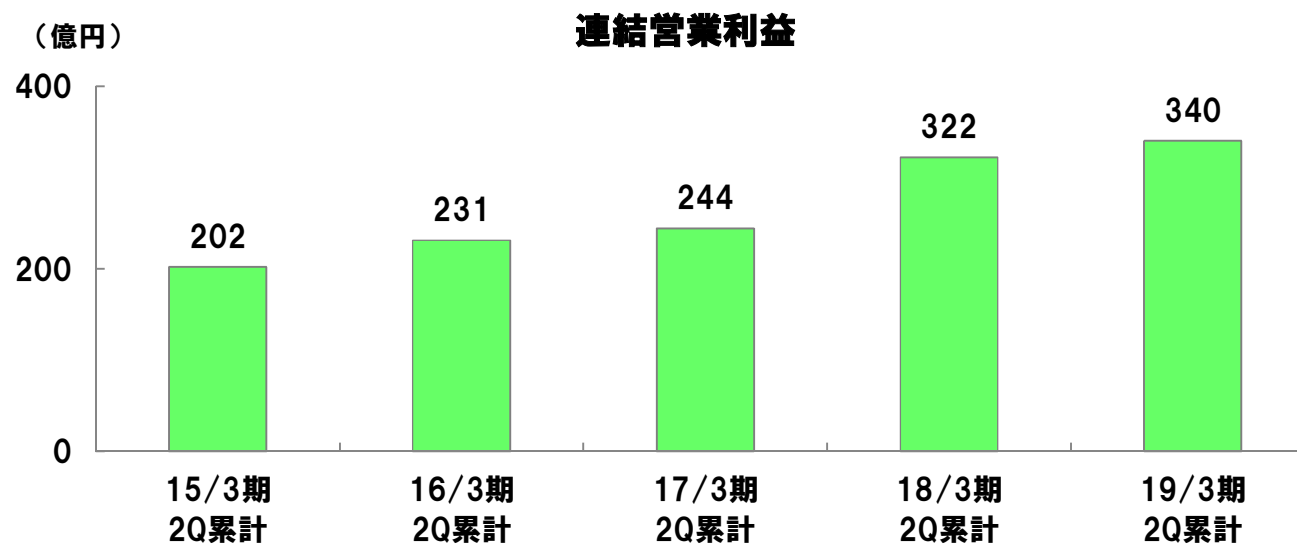
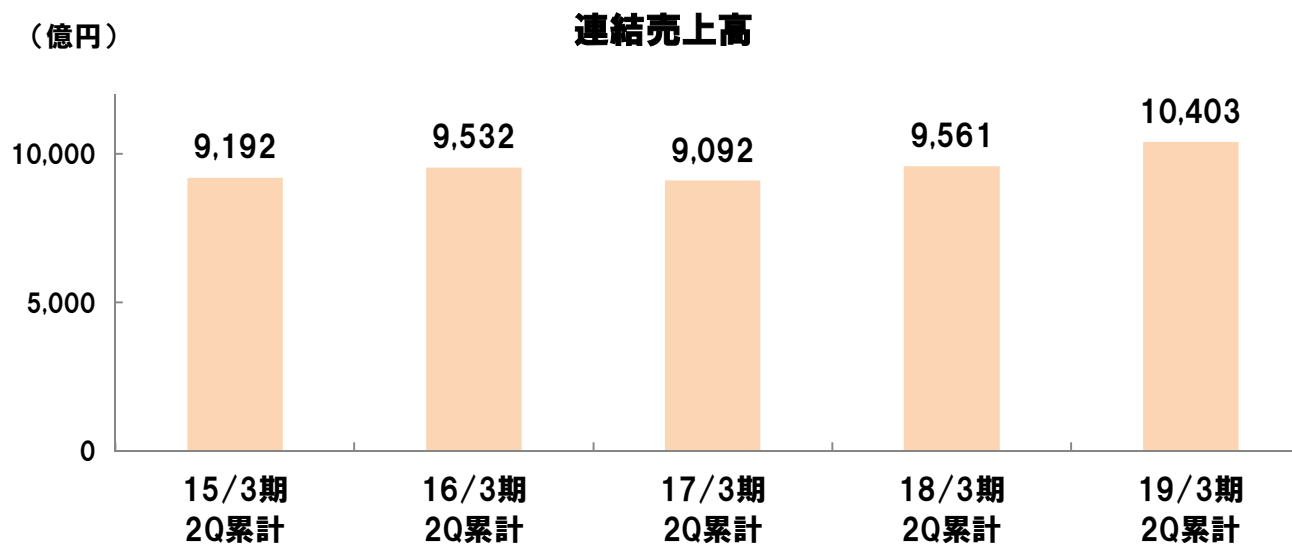
ROA 3.0％（0.4％）

ROE 8.0％（1.2％）

※ 当期純利益は通期予想、自己資本および総資産は前連結会計年度末と当期連結会計期間の平均値を使用し算出しております。

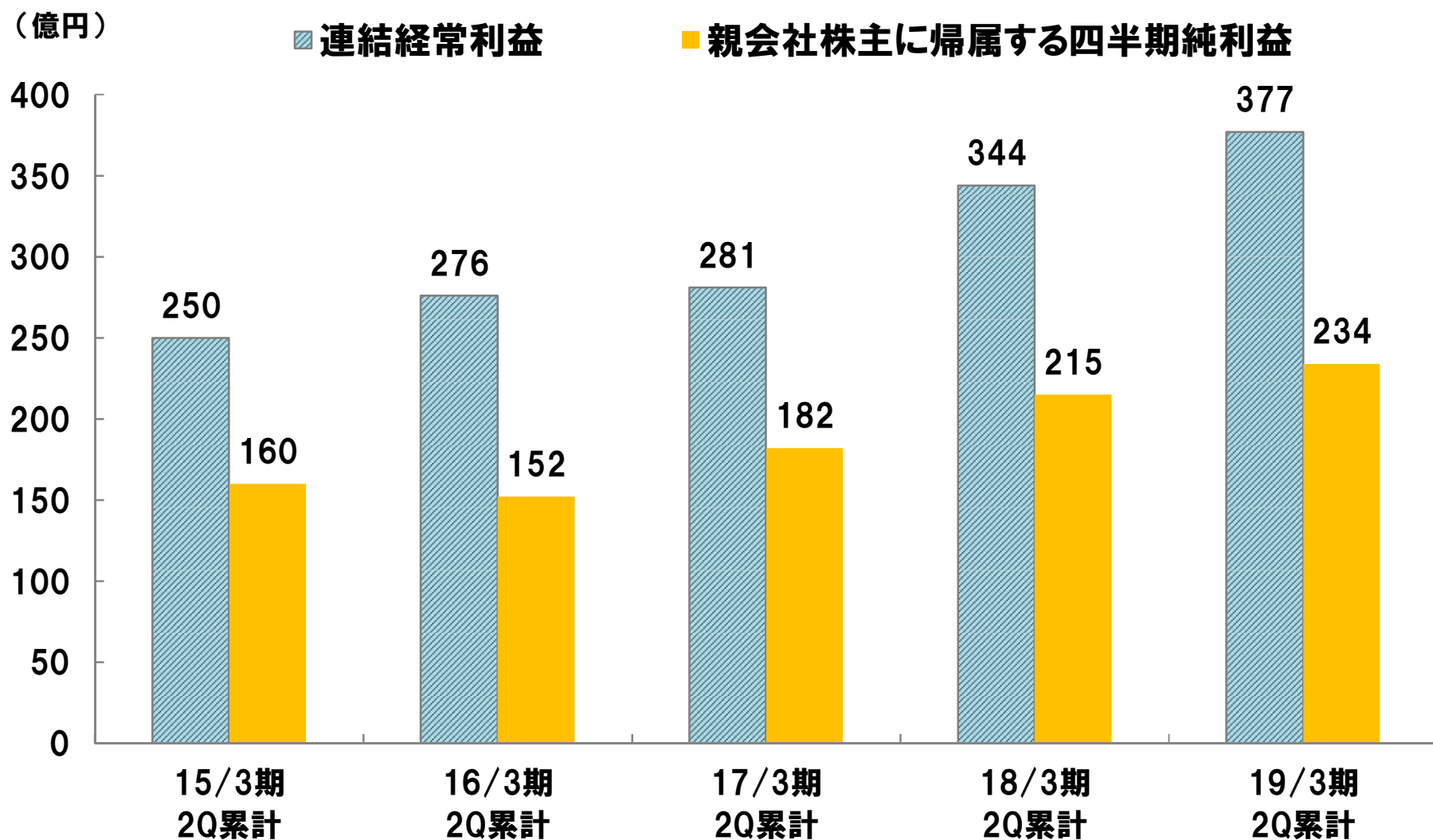
# I. 経営状況

## B. 直近5年間の売上高、営業利益の推移



# I. 経営状況

## C. 直近5年間の経常利益と親会社株主に帰属する四半期純利益の推移



# I. 経営状況

## D. 財政状態

(単位：億円、%)

	2019/3期 第2四半期末	2018/3期末	増減額
総資産	15,302	15,170	132
自己資本	5,458	5,298	159
自己資本比率	35.7	34.9	—

## E. キャッシュ・フローの状況

(単位：億円)

	2019/3期 第2四半期累計期間	2018/3期 第2四半期累計期間	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー (A)	312	459	△147
投資活動によるキャッシュ・フロー (B)	△599	△657	57
フリー・キャッシュ・フロー (A+B)	△287	△198	△89
財務活動によるキャッシュ・フロー	△57	△213	156
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,009	1,218	△208

(ご参考)	2019/3期 第2四半期末	2018/3期末	増減額 (前年度末比)
現金及び現金同等物の四半期末残高／期末残高	1,009	1,378	△369

## II. 外部環境の変化およびその他の変動要素

### A. 増減要素

変動要素	連結業績への影響 (2Q累計)	参考
燃油費単価変動 による影響	<p style="text-align: right;"><b>+18.3億円</b> (費用増)</p> <p>※2Q単四半期 +10.8億円</p> <p>※1Q単四半期 +7.5億円</p>	<p>1Qあたりの単価 (前年同期/前回予想)</p> <p>軽油 : 104.71円 (86.12円/103.90円)</p> <p>ガソリン : 137.50円 (120.18円/135.50円)</p> <p>船舶重油 : 55.28円 (41.24円/52.40円)</p>
為替による影響	<p>売上高 +26.3億円</p> <p>営業利益 +1.0億円</p> <p>※2Q単四半期 売上高 +15.8億円 営業利益 +0.4億円</p> <p>※1Q単四半期 売上高 +10.4億円 営業利益 +0.5億円</p>	<p>年間平均為替レート (前年同期/前回予想)</p> <p>USD : 108.69円 (112.37円/109.60円)</p> <p>EUR : 131.64円 (121.64円/130.30円)</p> <p>HKD : 13.87円 (14.46円/13.90円)</p> <p>RMB : 17.09円 (16.39円/16.80円)</p> <p>「年間平均為替レート」は、参考値。 決算では、四半期平均レートを各現地通貨ベースの四半期実績に適用。</p>

## II. 外部環境の変化およびその他の変動要素

### A. 増減要素

変動要素	連結業績への影響 (2Q累計)	参考
のれん及び固定資産にかかる減損損失計上による影響	営業利益 +15.1億円	日本 : +12.5億円 南アジア・中東 : +2.6億円
退職給付費用の減少	営業利益 +6.8億円	日本 : +5.4億円 警備輸送 : +1.2億円 重量品建設 : +0.1億円
その他の影響 (前年度特殊要素)	営業利益 △1.9億円 (※過年度の過払い 利用費戻し入れ)	日本 : △8億円 米州 : △1.1億円

## II. 外部環境の変化およびその他の変動要素

### A. 増減要素

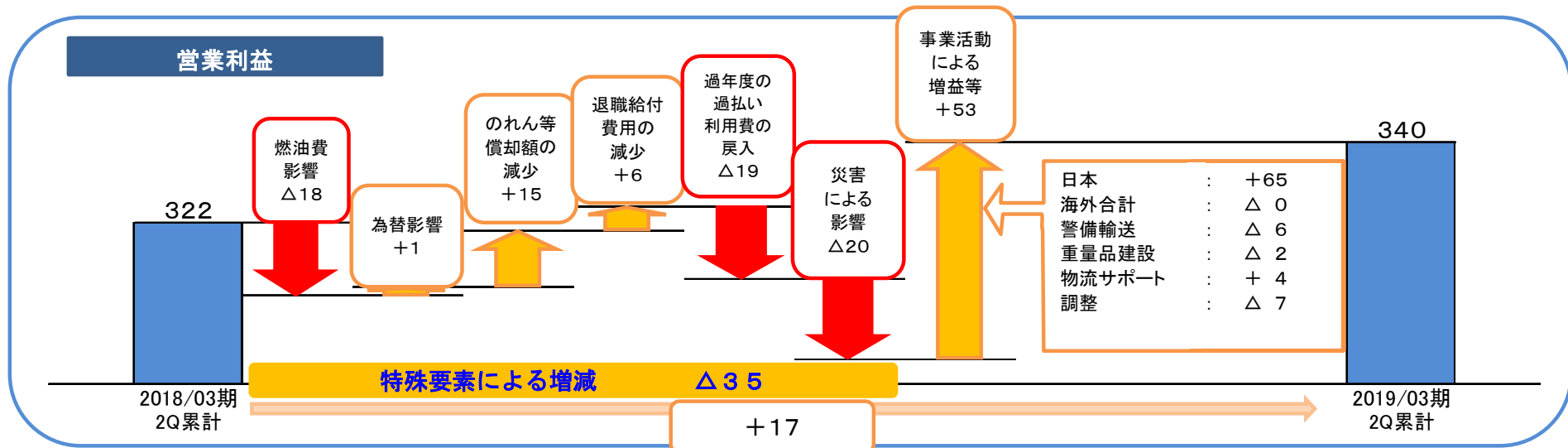
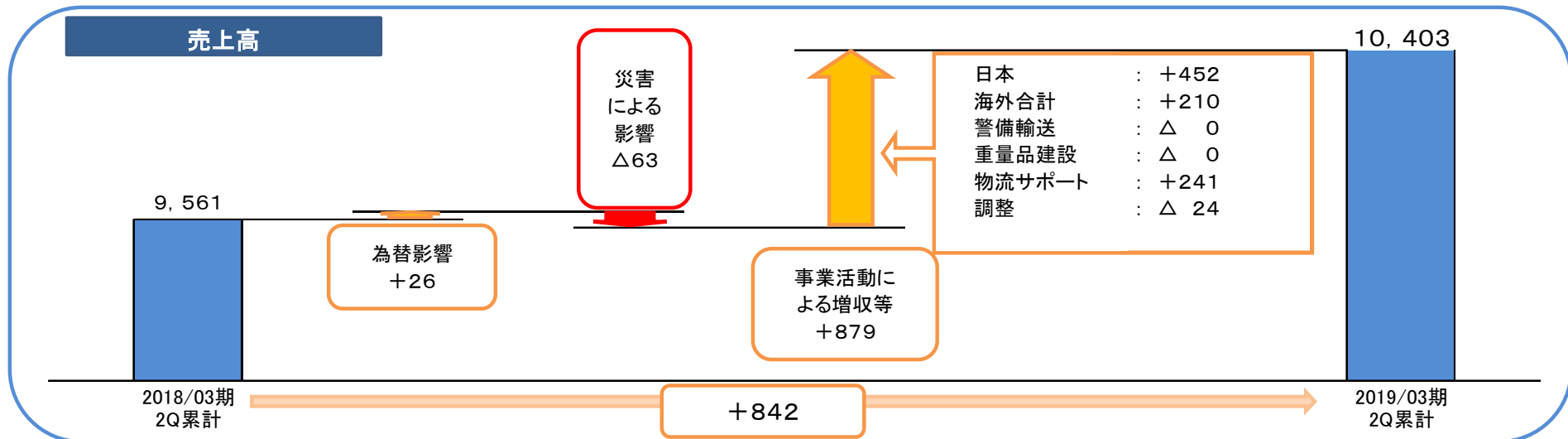
変動要素	連結業績への影響 (2Q累計)	参考
<b>災害による影響</b> (西日本豪雨、 台風21号、北海道 胆振東部地震)	<b>売上高</b> △63.6億円 <b>営業利益</b> △20.8億円	<b>営業利益</b> 日本 : △20.2億円 警備輸送 : △0.1億円 物流サポート : △0.4億円



## II. 外部環境の変化およびその他の変動要素

### B. 変動要素を考慮した売上高・営業利益増減内訳

(単位：億円)



# III. 2019年3月期 第2四半期業績分析

## A. セグメント別状況

### 1) 日本

※組織改正に伴い、2019年3月期より、日本セグメントの一部を警備輸送セグメントに変更したため、（単位：億円、％）  
 前年度の数値を変更後の数値に組み替えて比較しております。

		実績		前年同期対比		2Q累計予想 (4月27日発表)	達成率	差額
		19/3期	18/3期	増減額	増減率			
2Q累計	売上高	6,157	5,769	388	6.7	5,990	102.8	167
	セグメント利益	238	198	39	19.9	219	108.9	19
2Q単四半期	売上高	3,084	2,902	181	6.3	2Q単四半期営業利益率(前年同期)		
	セグメント利益	118	98	19	19.9	3.8 (3.4)		
	概況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄道輸送は、西日本豪雨や北海道胆振東部地震などにより、大幅に運休本数増加</li> <li>・トラック輸送は、鉄鋼や自動車関連部品の荷動きが堅調。西日本豪雨の影響による鉄道代替輸送も増収要因</li> <li>・航空は、輸出混載貨物の重量が、対前年で、プラス25.2%と増加。マーケットの伸び率を大きく超過</li> <li>・欧州地域向けの自動車関連部品やアジア向けの電子部品、半導体関連の輸出が、引き続き好調</li> </ul>						

### 2) 米州

（単位：億円、％）

		実績		前年同期対比		2Q累計予想 (4月27日発表)	達成率	差額
		19/3期	18/3期	増減額	増減率			
2Q累計	売上高	472	448	23	5.3	469	100.7	3
	セグメント利益	22	27	△4	△17.9	20	111.2	2
2Q単四半期	売上高	240	227	12	5.7	2Q単四半期営業利益率(前年同期)		
	セグメント利益	13	19	△5	△30.5	5.7 (8.6)		
	概況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現地通貨ベースにおいても、増収・減益</li> <li>・自動車関連を中心に、航空輸出が堅調に推移、航空輸入、海運輸入、倉庫配送業務も取扱い増加</li> <li>・費用に関し、お客様への転嫁と効率化による抑制が貢献</li> <li>・前年にあった過年度の過払い利用費の戻し入れの反動11億円の減益分は、補えず</li> </ul>						

# III. 2019年3月期 第2四半期業績分析

## A. セグメント別状況

### 3) 欧州

(単位：億円、%)

	実績	前年同期対比				2Q累計予想 (4月27日発表)	達成率	差額
		19/3期	18/3期	増減額	増減率			
2Q累計	売上高	559	438	121	27.7	551	101.6	8
	セグメント利益	7	17	△10	△58.2	20	36.1	△12
2Q単四半期	売上高	274	223	51	22.8	2Q単四半期営業利益率(前年同期)		
	セグメント利益	1	9	△7	△82.3	0.6 (4.1)		
	概況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現地通貨ベースにおいても、増収・減益</li> <li>・倉庫配送業務が堅調に推移</li> <li>・イタリアでの業務失注やスペインでの前年のスポット業務の反動により、航空輸出入の取扱い減少</li> <li>・1Qは、新規獲得の大型案件立ち上げの一時費用により苦戦した新規連結のトラコンフ社が、2Q累計で黒字。</li> </ul>						

### 4) 東アジア

(単位：億円、%)

	実績	前年同期対比				2Q累計予想 (4月27日発表)	達成率	差額
		19/3期	18/3期	増減額	増減率			
2Q累計	売上高	588	547	40	7.4	572	102.9	16
	セグメント利益	11	7	3	51.1	12	96.8	△0
2Q単四半期	売上高	304	279	25	9.0	2Q単四半期営業利益率(前年同期)		
	セグメント利益	7	3	4	111.7	2.5 (1.3)		
	概況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現地通貨ベースにおいても、増収・増益</li> <li>・航空輸出、海運輸出が堅調に推移</li> <li>・航空利用費の高止まりは継続するも、お客様への転嫁と効率化による費用の抑制が進み、利益面でも回復傾向</li> </ul>						

### III. 2019年3月期 第2四半期業績分析

#### A. セグメント別状況

##### 5) 南アジア・オセアニア

(単位：億円、%)

		実績	前年同期対比		2Q累計予想 (4月27日発表)	達成率	差額	
		19/3期	18/3期	増減額				増減率
2Q累計	売上高	444	395	49	12.5	423	105.1	21
	セグメント利益	19	16	2	18.4	18	107.4	1
2Q単四半期	売上高	226	201	25	12.6	2Q単四半期営業利益率(前年同期)		
	セグメント利益	10	8	2	24.7	4.7 (4.2)		
	概況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現地通貨ベースにおいても、増収・増益</li> <li>・引き続き、航空輸出で、自動車関連や電子部品、医薬品等が堅調に推移</li> <li>・倉庫配送業務でも取扱い伸長</li> <li>・利用費や外注費の高止まりが継続</li> </ul>						

##### 6) 警備輸送

※組織改正に伴い、2019年3月期より、日本セグメントの一部を警備輸送セグメントに変更したため、前年度の数値を変更後の数値に組み替えて比較しております。

(単位：億円、%)

		実績	前年同期対比		2Q累計予想 (4月27日発表)	達成率	差額	
		19/3期	18/3期	増減額				増減率
2Q累計	売上高	359	360	△0	△0.1	362	99.4	△2
	セグメント利益	2	10	△7	△72.7	5	58.5	△2
2Q単四半期	売上高	179	179	△0	△0.3	2Q単四半期営業利益率(前年同期)		
	セグメント利益	△0	4	△4	△107.6	△0.2 (2.3)		
	概況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャッシュ・ロジスティクス・プラットフォームの拡販により、地方金融機関からのアウトソーシングの取込みが進展</li> <li>・輸送業務の減少と、人件費や燃油費の上昇により、減収・減益</li> </ul>						

### Ⅲ. 2019年3月期 第2四半期業績分析

#### A. セグメント別状況

##### 7) 重量品建設

(単位：億円、%)

		実績	前年同期対比		2Q累計予想 (4月27日発表)	達成率	差額	
		19/3期	18/3期	増減額				増減率
2Q累計	売上高	248	248	△0	△0.0	243	102.3	5
	セグメント利益	20	23	△2	△10.9	20	104.4	0
2Q単四半期	売上高	124	125	△1	△0.9	2Q単四半期営業利益率(前年同期)		
	セグメント利益	10	13	△3	△25.6	8.2 (10.9)		
	概況	・前年にあった海外の大型プラント工事の反動						

##### 8) 物流サポート

(単位：億円、%)

		実績	前年同期対比		2Q累計予想 (4月27日発表)	達成率	差額	
		19/3期	18/3期	増減額				増減率
2Q累計	売上高	2,285	2,042	242	11.9	2,224	102.8	61
	セグメント利益	57	53	4	8.2	56	102.9	1
2Q単四半期	売上高	1,170	1,035	135	13.1	2Q単四半期営業利益率(前年同期)		
	セグメント利益	30	28	2	8.4	2.6 (2.7)		
	概況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日通商事において、石油類の販売単価の上昇により、売上が増加</li> <li>・輸出梱包業務などのロジスティクス・サポート事業も、堅調に推移</li> </ul>						

(日通商事、日通キャピタル、日通不動産ほか)

## IV. 2019年3月期の業績予想

### A. 連結業績予想（修正後）

（単位：億円、％）

	2019/3期 上期実績	2019/3期 下期予想	前年同期対比		通期予想 (18/10/31発表)	前年対比		前回通期予想対比 (18/4/27発表)	
			2018/3期 下期実績	増減額 (増減率)		2018/3期 通期実績	増減額 (増減率)	通期予想	増減額 (増減率)
売上高	10,403	10,696	10,391	304 (2.9)	21,100	19,953	1,146 (5.7)	20,800	300 (1.4)
営業利益	340	429	380	49 (13.0)	770	702	67 (9.6)	770	-
経常利益	377	432	399	32 (8.3)	810	743	66 (8.9)	810	-
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	234	215	△150	365 (-)	450	65	384 (588.7)	450	-

（億円未満切捨て）

## IV. 2019年3月期の業績予想

### B. セグメント別状況（修正後）

（単位：億円、％）

項目	2019/3期 上期実績	2019/3期 下期予想	前年同期対比		通期予想 (18/10/31発表)	前年対比		前回通期予想対比 (18/4/27発表)		
			2018/3期 下期実績	増減額		2018/3期 通期実績	増減額	通期予想	増減額	
日本	売上高	6,157	6,236	6,117	118	12,394	11,886	507	12,245	149
	営業利益	238	287	257	31	527	455	71	516	11
	利益率	3.9	4.6	4.2		4.3	3.8		4.2	
	見通し概況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・航空・輸出フォワーディングが、引き続き、アジア向けを中心に堅調に推移する見込み</li> <li>・燃油費や外注費の上昇が予想され、お客様への転嫁、作業の効率化を図るが、燃油費の上昇が、期首予想を大幅に超過するため、利益予想にも反映</li> </ul>								
米州	売上高	472	523	465	58	996	913	82	954	42
	営業利益	22	26	17	8	49	44	4	43	6
	利益率	4.7	5.1	3.8		4.9	4.9		4.5	
	見通し概況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車関連の取扱いが、引き続き堅調に推移する見通し</li> <li>・海運輸出入・倉庫配送の荷動きが継続し、前年の特殊要因11億円のマイナス影響を消化し、増益見込み</li> </ul>								
欧州	売上高	559	562	522	39	1,122	960	161	1,124	△2
	営業利益	7	18	24	△5	26	41	△15	46	△20
	利益率	1.3	3.3	4.6		2.3	4.3		4.1	
	見通し概況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域全体で、倉庫配送業務が順調に売上伸長見通し</li> <li>・非日系企業への営業強化も着実に進むが、失注した業務の再獲得や新規業務獲得による補完には、時間要する見込み</li> </ul>								



# IV. 2019年3月期の業績予想

## B. セグメント別状況（修正後）

（単位：億円、％）

	項目	2019/3期 上期実績	2019/3期 下期予想	前年同期対比		通期予想 (18/10/31発表)	前年対比		前回通期予想対比 (18/4/27発表)	
				2018/3期 下期実績	増減額		2018/3期 通期実績	増減額	通期予想	増減額
東 ア ジ ア	売上高	588	641	627	14	1,230	1,174	55	1,213	17
	営業利益	11	17	10	6	29	18	10	28	1
	利益率	2.0	2.7	1.7		2.4	1.6		2.3	
	見通し概況	<ul style="list-style-type: none"> <li>中国における自動車関連の取扱いが、引き続き堅調に推移、航空・海運フォワーディングが回復見通し</li> <li>航空利用費の高騰は継続するが、お客様への転嫁と混載効率の改善見込み</li> </ul>								
南 ア ジ ア ・ オ セ ア ニ ア	売上高	444	471	458	12	916	853	62	900	16
	営業利益	19	17	17	0	37	33	3	37	-
	利益率	4.3	3.7	3.8		4.0	4.0		4.1	
	見通し概況	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域全体で、倉庫配送業務が堅調に推移、航空・海運の輸出入フォワーディングも、荷動きの継続見込み</li> <li>引き続き、アジア発着、アジア域内での物流拡大を図るべく、拠点の拡充等、継続的に投資</li> </ul>								
警 備 輸 送	売上高	359	366	359	6	726	720	5	739	△13
	営業利益	2	8	10	△2	11	21	△10	15	△4
	利益率	0.8	2.2	3.0		1.5	3.0		2.0	
	見通し概況	<ul style="list-style-type: none"> <li>キャッシュ・ロジスティクス・プラットフォームの構築を図り、地方金融機関をターゲットに、アウトソーシングの獲得に取り組むが、人件費等の増加の影響見込み</li> </ul>								



## IV. 2019年3月期の業績予想

### B. セグメント別状況

(単位：億円、%)

	項目	2019/3期 上期実績	2019/3期 下期予想	前年同期対比		通期予想 (18/10/31発表)	前年対比		前回通期予想対比 (18/4/27発表)	
				2018/3期 下期実績	増減額		2018/3期 通期実績	増減額	通期予想	増減額
重量品建設	売上高	248	212	227	△14	461	476	△15	458	3
	営業利益	20	16	17	△1	37	40	△3	36	1
	利益率	8.4	7.6	7.6		8.0	8.5		7.9	
	見通し概況	・前年上期に集中したシャットダウンメンテナンス業務が減少するほか、海外における大型プロジェクトが、前年ほど見込めず								
物流サポート	売上高	2,285	2,481	2,389	91	4,767	4,432	334	4,654	113
	営業利益	57	60	63	△3	118	117	0	118	-
	利益率	2.5	2.4	2.7		2.5	2.6		2.5	
	見通し概況	・日通商事におけるロジスティクス・サポート事業での梱包業務が堅調に推移する見込み。								

※警備輸送事業に関わる組織改正の実施にあわせて、2019年3月期より、日本セグメントの一部を警備輸送セグメントに変更いたしました。これに伴い、本見通しについては、前年度の数値をセグメント変更後の数値に組み替えて比較をしております。  
 (変更セグメント:日本、警備輸送)

## IV. 2019年3月期の業績予想

### C. 外部要因およびその他変動要素の前提（予想）

変動要素	連結業績への影響 (通期予想)	前提条件・参考
<b>燃油費単価変動による影響</b>	<b>+ 35.4 億円</b> (費用増) 下期 +17.0 億円 上期 +18.3 億円	(前期年間平均) 軽油 : 109.20 円/ℓ (90.66 円) ガソリン : 138.68 円/ℓ (124.38 円) 船舶重油 : 55.93 円/ℓ (44.29 円)
<b>為替による影響</b>	<b>売上高</b> <b>+ 3.7 億円</b> 下期 △22.5 億円 上期 +26.3 億円  <b>営業利益</b> <b>+ 0.2 億円</b> 下期 △0.7 億円 上期 +1.0 億円	(前期年間平均) USD : 110.60 円 (112.19 円) EUR : 131.00 円 (126.67 円) HKD : 14.10 円 (14.40 円) RMB : 17.10 円 (16.63 円)  <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>「年間為替レート」は、参考値。              決算では、四半期平均レートを各現地通貨ベースの四半期実績に適用。</p> </div>

## IV. 2019年3月期の業績予想

### C. 外部要因およびその他変動要素の前提（予想）

変動要素	連結業績への影響 (通期予想)	前提条件・参考
のれん及び固定資産にかかる減損損失計上による影響	営業利益 + 30 億円	日本 : + 25 億円 南アジア・中東 : + 5 億円
退職給付引当金の減少	営業利益 + 13.6 億円	日本 : + 10.9 億円 警備輸送 : + 2.4 億円 重量品建設 : + 0.3 億円
その他の影響 (前年度特殊要素)	営業利益 △ 19 億円 (※過年度の過払い 利用費戻し入れ)	日本 : △ 8 億円 (1Q) 米州 : △ 11 億円 (2Q)

## IV. 2019年3月期の業績予想

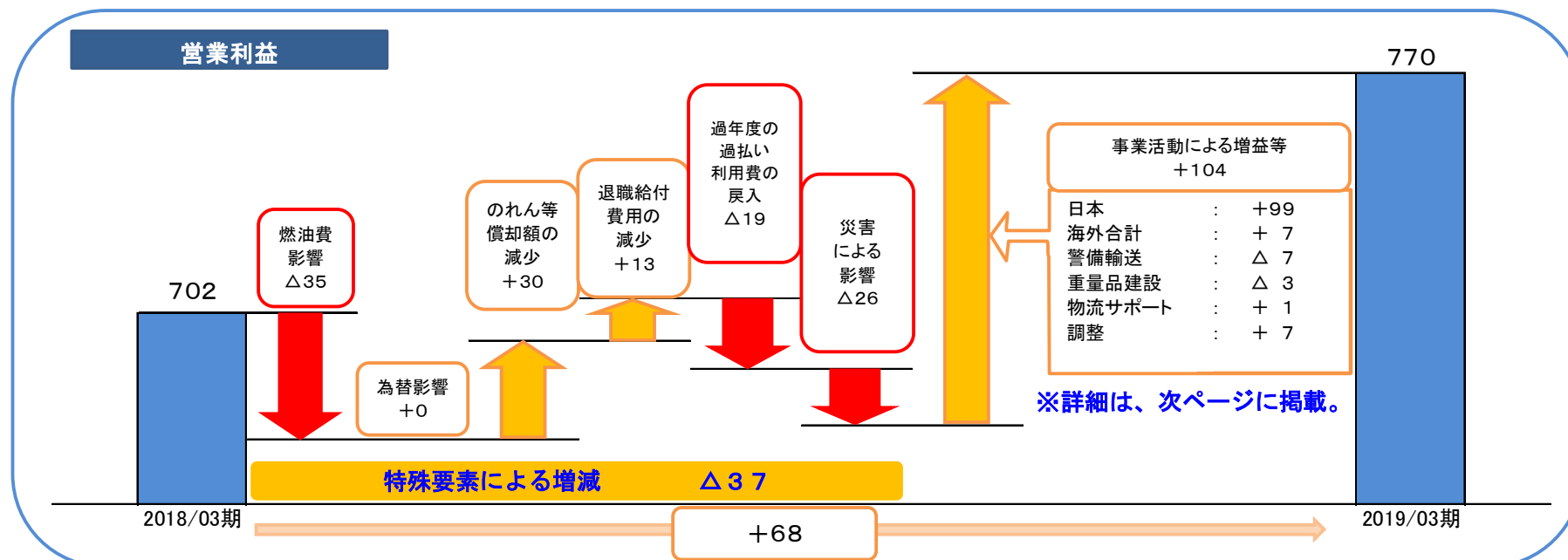
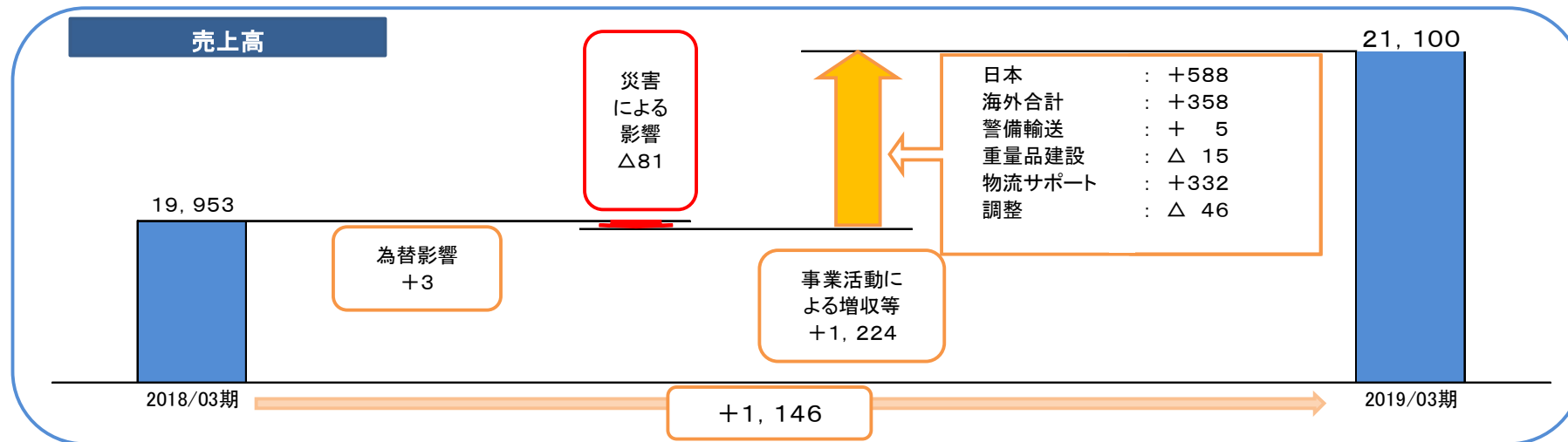
### C. 外部要因およびその他変動要素の前提（予想）

変動要素	連結業績への影響 (通期予想)	参考
災害による影響 (西日本豪雨、 台風21号、北海道 胆振東部地震)	<b>売上高</b>	<b>営業利益</b>
	△81.5億円	日本                  : △26.1億円
	下期 △17.8億円	警備輸送              : △0.1億円
	上期 △63.6億円	物流サポート          : △0.4億円
	<b>営業利益</b>	
	△26.7億円	
下期 △5.9億円		
上期 △20.8億円		

# IV. 2019年3月期の業績予想

## D. 変動要素を考慮した売上高・営業利益増減内訳（予想）

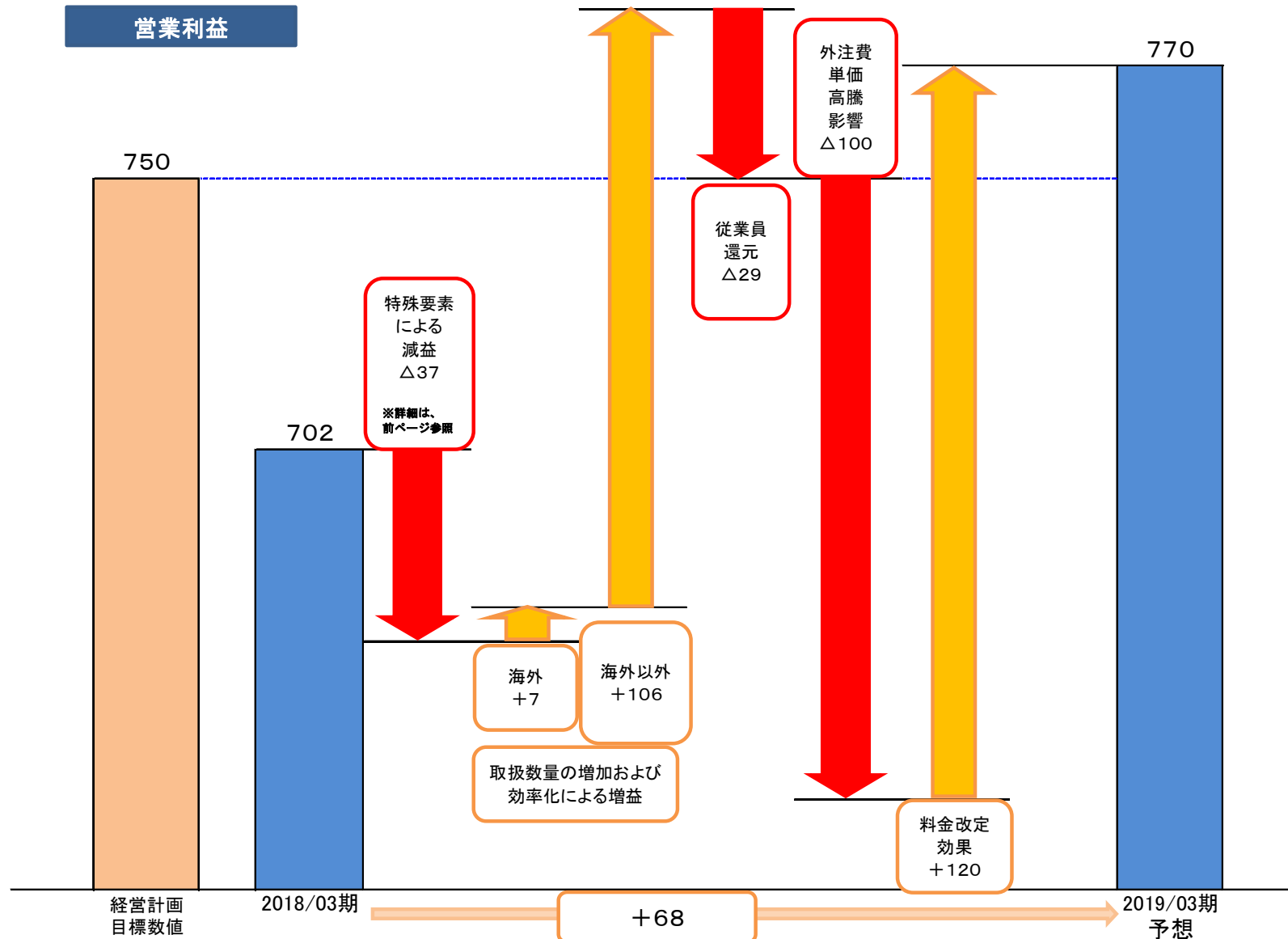
（単位：億円）



# IV. 2019年3月期の業績予想

## E. 2019年3月期 予想数値の考え方

(単位：億円)



## V. 経営計画の進捗状況

### A. 日通グループ経営計画2018 - 新・世界日通。 -

国内(日本)事業の収益性を更に向上させ、真のグローバルロジスティクス企業となるべく、注力する事業領域と成長地域へのBtoBに特化した集中投資を着実に実行する。



## V. 経営計画の進捗状況

### B. 重点戦略の進捗状況

	重点戦略	項目	進捗状況
エリア戦略	日本 「成長性」と「収益性」 の両立	地域特性に適応した事業展開	・ビール大手4社の関西・中国－九州間の共同モーダルシフトをサポート ・「中部空港物流センター新棟」を開設
		国内事業の強化と新規事業軸の構築	・北関東インランドデポの運用開始
	海外 日通グループの成長 を牽引	米州、欧州、東アジアでの収益性向上	・「パナマ支店」を開設
		南アジア・オセアニアにおける成長	・「ラオス支店」を開設 ・タイに「アマタシティコンプリロジスティクスセンター」を開設 ・インドネシアで、ハラール製品の一貫輸送体制を確立
		重量品建設事業のグローバル展開	・NEX グローバルエンジニアリング、インドネシアに駐在員事務所を開設
	機能戦略	グループ経営の強化	グループ経営資源の最適配置
日通グループの企業価値向上に資するM&A			・「Traconf S.r.l.」の子会社化
コア事業の強化と 高度化		イントラアジア圏におけるネットワーク拡充	・「GMS越境交通許可証」を取得 ・「Don Mueang Midnight Express」を新設
		アジア発着トラフィックの取扱い拡大	・「重慶SEA & RAILサービス」を新設 ・「NEXSAO-AIR SAT INDIA(SEA & AIR)」を新設 ・「Eurasia Train Direct(Sea & Rail)」、「Eurasia Train Direct(Air & Rail)」を新設



***We Find the Way***



本資料のいかなる情報も、弊社株式の購入や売却等を勧誘するものではありません。

また、本資料に記載された意見や予測等は資料作成時点での弊社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではなく、今後、予告無しに変更されることがあります。

万一、この情報に基づいて、こうむったいかなる損害についても、弊社及び情報提供者は一切責任を負いませんのでご承知おきください。